

# みの〜れは自分の家。だからいつもキレイに。



みの〜れ清掃スタッフ  
**中村 敏子**さん(右)  
**鈴木 ひろ**さん(中)  
**矢口フサ江**さん(左)

「みの〜れがきれいであることが私たちの誇りでもあるんです」と語る3人。

みの〜れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
 のすすめ No.65

池花池に白鳥が飛来し、休日には陽だまりの中、親子で楽しいひとときを過ごしている姿を見かけるようになりまし。また、みの〜れ周辺の大きな木の下でどんぐりを拾う子どもたちの姿に目を細めてしまいます。11月3日、お陰様でみの〜れが10歳を迎え、お誕生日会が盛大に中村さん・鈴木さん・矢口さん取材する。

## お掃除はもう… 趣味です。

みの〜れの館内・周辺はいつも清掃が行き届いており、訪れたお客様からは「みの〜れが開館してから10年も経つんですか?」とよく聞かれるそう。館内を見渡しても塵一つないトイレの便器や洗面器には水垢もない。「自分の家だと思って掃除をしていて、自分の家のトイレを貸していると思ってるからね。お客様から『綺麗ですね。ご苦労様』と声をかけてもらえるのがとても励みになっています。犬じゃないけど、トイレではくくん臭いを嗅いで臭い元を見つければ、また次の日その場所を一生懸命やると、だんだん臭いもなくなる。力を入れて一生懸命ゴシゴシやるから、後でどうして腕が痛いんだろ?と思うことが多々あります」と三人は笑う。

が、自主的に7時にはみの〜れに来て、今日はどの部屋が一番に使われるのか、予定表を見てから掃除を始めます。その日によって作業を始める場所が違います。7時30分には仕事に取り掛かり、午後1時まで毎日のお掃除を手抜きなく真面目にやることを心掛けています。朝はテンションを上げるために「みんな頑張りますよ!」と掛け声をかけてから仕事を始めます。テンションを上げるのは徐々にでは駄目なんです。最初は全力が大事この仕事をやるようになってから足腰が丈夫になりました」と気の合う仲良し3人の会話は笑いでいっぱい。

富士山など、たくさんの山に登った。おかげで足が丈夫で歩くのがとても速い。「最初はみの〜れで人と触れ合うのが恥ずかしかった。でも、みの〜れはいつもきれいだねって言葉は、いつか嬉しくなってくる」と話す。

矢口さんはエコクラフトを習っていて、文化祭でも作品を展示している。「編み物も好きで昔から習っていた。なかなか今は出来ないで、近くに教室があったらいいな。私も鈴木さんと一緒に、最初は人と触れ合うのが恥ずかしかった。でも、もう大丈夫。みの〜れはきれいだねと声をかけてもらうとうれしくなります」と話す。

また、「みの〜れのいろいろなイベントがつくれる過程も見られて楽しい。毎日生き生きと過ごせている。次の日に仕事があると、明日はあそこをやつてからここをやろうとスケジュールを考えているので、体だけじゃなく頭も使うのがいい。あと10年は頑張りたい」と3人は声を揃えて話している。中村さん・鈴木さん・矢口さんが女神様に見えました。

(藤田 佐知子)